

無収縮防水モルタル

エレホン #200

エレホン・#200は、無収縮で防水性や接着性が高いセメントモルタルです。エマルジョンを組み合わせることで防水性能や接着性能を高めた一般的なセメントモルタルに比べ、エレホン・シーラーとの組み合わせに加えて粉末樹脂を配合した豊富な樹脂量、毛細管空けきの自己充填作用が期待できるケイ酸質粉末の配合による#200硬化体の緻密性の向上、ならびに水和物の無転移化が可能な特殊セメントの配合による無収縮化により、防水性や接着性の向上、痩せやクラックの軽減を実現させました。

特長

- ▶ **無収縮性** 乾燥収縮対策、ならびにセメント水和物を無転移化し、体積収縮対策を施すことで無収縮性を実現させました。
- ▶ **防水性** #200に配合しているケイ酸質成分の作用やエレホン・シーラーを混ぜることで、高い防水性能が得られます。また、無収縮性なので痩せやクラックが少なく、長期に渡って防水性能が期待できます。

防水メカニズム

#200をエレホン・シーラーと水で練り混ぜると、#200に配合の活性シリカを含むケイ酸質粉末からケイ酸イオンが溶出します。このケイ酸イオンが、#200硬化体中に存在する遊離石灰から電離したカルシウムイオンと反応し、不溶性の結晶体であるケイ酸カルシウム水和物を生成させます。この不溶性の結晶体が、一般的なモルタルであれば必ず生じる毛細管空けきを充填、緻密化させ、#200自体を防水体へと変化させます。



用途

●Pコン跡やジャンカなどの充填補修、打ち継ぎコーナー部ハンチ形成による防水工、目地充填、その他早期開放が要求される欠損部充填。

配合及び材料使用量

配合と材料使用量		樹脂配合仕様内訳	
		混入	未混入
配合	#200粉体	25kg	25kg
	エレホン・シーラー	2kg	—
	水	3.0~3.5kg	4.5~5.0kg
練上り量		16.67ℓ	15.63ℓ
積算比重		1.620	1.600
m ³ 使用量		1,620kg (60セット)	1,600kg (64袋)

施工厚み別使用量	樹脂配合仕様内訳	混入	
		混入	未混入
材料使用量 kg/m ²	3mm	4.86	4.80
	5mm	8.10	8.00
	8mm	12.96	12.80
	10mm	16.20	16.00
Vカット深さ別 kg/m	3cm×3cm	0.73	0.72
	5cm×5cm	2.03	2.00
	10cm×10cm	8.10	8.00

施工要領

- ① 下地調整**
必要に応じて、下記の下地調整を行って下さい。
・劣化部は、可能な限り除去。
・クラックは深さ3~5cm程度Vカット、ジャンカはブレードなどではつき取る。
・漏水箇所は、#300で止水。
- ② 清掃**
施工面の汚れを除去(12MPa以上の高圧水洗推奨)。
- ③ 吸水調整**
必要に応じて、2~3倍に希釈したエレホン・シーラーを施工面に塗布して下さい。次工程まで1時間以上養生して下さい。
- ④ 塗り付け**
#200を規定配合比で混合し、ハンドミキサーなどで練り混ぜて下さい。練り混ぜた#200をコテなどで補修箇所に塗りつけて下さい。夏期は、粉体の袋の中に添付した遅延剤を使用して施工して下さい。
- ⑤ 養生**
注水、水がかりまでの養生日数は、夏期で1日以上、冬期で2日以上です。

- **荷姿** ・粉体25kg
・エレホン・シーラー2kg



性能

材令	圧縮強さ(N/mm ²)※1	接着強さ(N/mm ²)※1
7日	12.4	1.5
14日	24.5	1.9
28日	32.5	2.2

※1 圧縮強さはJIS A 1171に準拠、接着強さは建研式にて測定。供試体の作製及び養生は、20℃一定環境下で行った。

項目	ブレーンモルタル	樹脂配合仕様内訳		
		混入	未混入	
透水量※2 (g)	1回	74.0	1.8	5.4
	2回	70.8	2.1	4.8
	3回	71.2	2.1	5.2
	平均	72.0	2.0	5.1
透水比		100.0	2.8	7.1

※2 透水量はJIS A 1404に準拠し、試験水圧は0.3MPa/1hr。

注)上記表は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保障値ではありません。

● 注意事項

- ・ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- ・製品は直射日光、湿気を避けて5～35℃で保管して下さい。
- ・#200は、エレホン・シーラーと一緒に練り混ぜる樹脂混入仕様と粉体だけで用いる樹脂未混入仕様の2仕様ございます。樹脂を混入しますと防水性能と接着性能が高まりますので、防水性や接着性の要求に応じて選択下さい。
- ・#200は、冬用と夏用があり、その使用期間の目安は、冬用が10月～翌年4月、夏用が4月～10月です。(本社工場製造品のみ)
- ・エレホン・シーラー以外の樹脂は使用しないで下さい。
- ・練り水は、水道水水質同等のものを使用して下さい。不純物が硬化時間等に影響を与える場合があります。
- ・練り水は、規定水量を超えて過剰に加えないで下さい。(物性が低下します)
- ・一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- ・高温時は硬化遅延剤や、状況により冷水の使用を検討して下さい。
- ・魚類など水生生物を放つコンクリート槽に施工する場合、養生後に十分なあく抜きを行って下さい。供用する前にはリトマス試験紙などでpHが中性であることを確認して下さい。
- ・低温時は凍害の恐れがありますので採暖やシート養生を行って下さい。
- ・長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- ・目に入った場合は直ちに水で数分間注意深く洗い、眼科医の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗浄し、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- ・閉所で使用する場合は換気を十分に行って下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

- 既存下地・施工環境・気候とさまざまな施工上の問題がありますので、使用の際は当社営業担当へご相談下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

● 本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
● 福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関東支店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
● 仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
● 静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
● 北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
● 鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エレホン・技研岡山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1450-6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230